

趣旨
 世界に伍する産業の振興・創出に向けて、目指すべき姿を示し、具体的な施策を展開することにより、その姿を実現することを目的として、本プランを策定する

位置付け
 県政運営の基本となる（総合計画）の実現を産業振興の面から支えるものとして位置付ける。

計画期間
 2023年度から2027年度までの5年間

- 課題**
- (A)構造的課題
 - ・「稼ぐ力」の中長期的な減少傾向
 - ・産業の担い手・人材の不足
 - ・企業・人・設備・業態の新陳代謝が進んでいない
 - ・海外状況の影響を受けやすい下請型・受託加工型企業が多い
 - (B)情勢変化等による課題
 - ・人材獲得競争の激化
 - ・産業構造の変化（EVシフト等）や多様化する顧客ニーズへの対応
 - ・ゼロカーボン、エシカル、SDGs等への対応
 - ・サプライチェーンの見直し

長野県の特徴（仮）

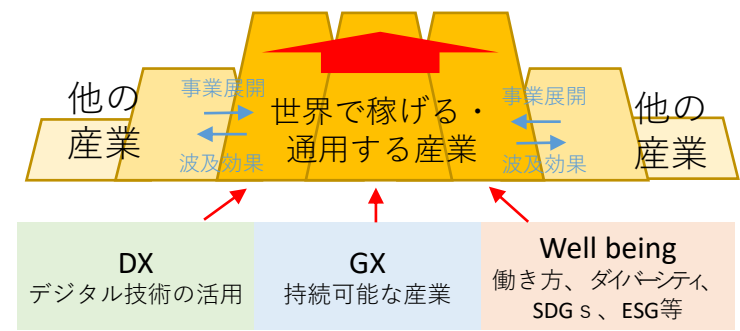
- ・加工組立産業に特化した産業構造
- ・豊かな自然環境と地域資源
- ・都市部との近接性・暮らしやすさ・健康長寿

現行プランの課題

【重点施策】・イベント等を通じた施策は感染症による影響
 ・新たな生活様式等に伴う急激なニーズ変化への対応

【プロジェクト外】・5年間で事業化等の実績を出すことが難しい分野があった
 ・実施主体の企業の撤退等により事業が止まってしまう事例も

- 基本方針**
- ・グローバル競争が激化する中、新しい価値を生み出し発展していけるよう、企業の競争力強化や人材育成・確保、新産業創出等を通じ、世界で稼げる・世界で通用する産業の振興・創出を図る。
 - ・施策の実施に当たっては、「DX」「GX」「Well-being」といった社会や価値観の変化を「稼ぐ力」の向上に向けた原動力と捉え、事業展開を図るとともに、これらの変化に対し企業が柔軟に対応できるよう支援を行う。



目指すべき姿
 グローバルな視点を持って、環境の変化に柔軟に対応しながら産業イノベーションの創出に向けて、積極果敢な産業の集積

目標 **（イノベーション→持続的な成長？）**
 県内産業の「稼ぐ力」の向上（県内総生産、製造業の従業者一人当たり付加価値額？）

産業イノベーションの創出に向けた活動に取り組む企業の増加

- 重点施策**
- ・研究開発支援（産技）
 - ・先端技術活用型産業創出支援（産技）
 - ・課題解決型企業群形成（産技）
 - ・地域資源活用（産技）
 - ・マーケティング力強化（経営・営業）
 - ・人材育成支援（人材）
 - ・人材確保支援（労働）
 - ・起業・スタートアップ（経営）
 - ・産業集積・投資促進（立地）

国際競争力を有する高付加価値型の次世代産業の集積形成

- プロジェクト**
- ・航空機産業振興プロジェクト
 - ・医療機器産業振興プロジェクト
 - ・食品製造業振興プロジェクト
 - ・信州ワイン振興プロジェクト
 - ・信州IT産業振興プロジェクト
- ※地域計画は「他プロジェクトに受け入れ」Or「地域の名称は使わずにプロジェクト化」

情勢変化や現行プランの課題を整理

必要に応じて変更を検討

地域ごと分野ごと

プランの名称

【現行】 長野県ものづくり産業振興戦略プラン



【案①】 長野県産業振興ビジョン ～グローバル・イノベーションプラン2027～

【案②】 長野県産業振興プラン ～世界に伍する産業の振興・創出～

趣旨

【現行】 産業イノベーションの創出に向けて、本県の製造業の目指すべき姿を示し、具体的な施策を展開することにより、その姿を実現することを目的として、本プランを策定する。



【案】 **世界に伍する産業の振興・創出**に向けて、目指すべき姿を示し、具体的な施策を展開することにより、その姿を実現することを目的として、本プランを策定する

基本方針案①

グローバル競争が激化する中、新しい価値を生み出し発展していけるよう、企業の競争力強化や人材育成・確保、新産業創出、下請けからの脱却等を通じ、世界で稼げる・世界で通用する産業の振興・創出を図る。

(支援する分野例：健康・医療、次世代交通、環境・エネルギー、ITなど)

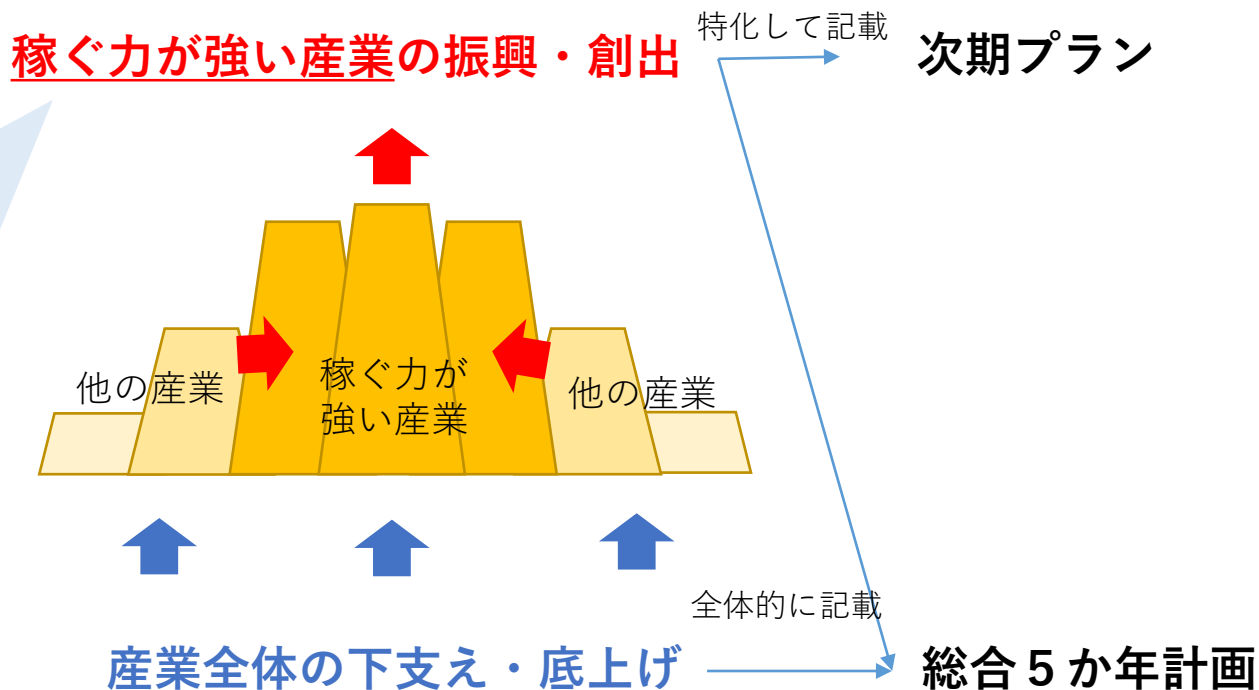
(イメージ)

【現行】 製造業
(特に健康・医療、環境・エネルギー、次世代交通)

【変更案】 世界で稼げる
・世界で通用する産業



- ・グローバルな視点を持ってイノベーション創出に取り組む企業
- ・海外で直接稼ぐ企業
- ・直接海外と取引していなくても、部品や技術が世界的に使われている企業
- ・世界的に見ても優れた技術や製品を提供している企業



基本方針案②

施策の実施に当たっては、「DX」「GX」「Well-being」といった社会や価値観の世界的な変化を「稼ぐ力」の向上に向けた原動力と捉え、事業展開を図るとともに、これらの変化に対し企業が柔軟に対応できるよう支援を行う。

(イメージ)

	DX	GX	Well beingを考慮した変化
変化を取り入れることで新たな事業展開	スマートファクトリー、AI、センサー、自動運転、ロボティクス等	EV・FCV、省エネ・再エネ関連技術、フードテック等	ヘルスケア、ソーシャルビジネス、フェムテック
対応しないと投資・取引等のチャンスを逃す可能性	デジタル化への対応	温室効果ガスの削減	ダイバーシティ経営 働き方改革 SDGs・ESGの観点



これらを「稼ぐ力」をさらに高める原動力と位置付けて各施策の中に反映

～現行～

- 1 産業イノベーション創出研究開発支援
- 2 AI・IoT等先端技術活用型新事業創出支援
- 3 課題解決型企业群形成支援
- 4 地域資源活用支援
- 5 マーケティング力強化支援
- 6 産業人材育成支援
- 7 産業人材確保支援
- 8 起業・スタートアップ支援
- 9 産業集積及び投資促進



～変更案～

- 1 技術開発支援と新しい価値づくりへの挑戦
 - ・「モノづくり」から「コトづくり」へのチャレンジ
 - ・研究機関の機能・連携強化による課題解決に貢献できる研究開発の展開
 - ・競争優位性の高い技術や製品によるグローバル展開を支援
- 2 ITサービスの高度化とその活用
 - ・先端技術を活用した新事業創出支援
 - ・県内企業のデジタル化推進
 - ・県内IT企業の開発力向上
- 3 産業人材育成・確保支援
 - ・各産業・業務とデジタル技術を結び付ける人材の育成
 - ・知識・スキルを学び続けることのできるリカレント教育の環境整備
 - ・働き方改革を推進、多様性に富んだ人材の雇用促進と就業環境の整備
 - ・クリエイティブ人材の誘致、定着
- 4 ブランディング・マーケティング
 - ・本県の豊かな地域資源を活用し、県産品のブランド化を推進
 - ・原料生産から加工製造等の工程などの体験等を通じた需要促進へ
 - ・生活とのつながりとなるエシカルや安全・安心、環境に配慮した製造
- 5 スタートアップエコシステムの構築
 - ・スタートアップが生まれ、成長しやすい環境整備を促進
 - ・テレワーカーへ県内で働く魅力を周知
 - ・県外企業に長野県とかかわりを持つキッカケを提供

※もし追加するなら...
企業の自己変革力向上?、企業間連携支援?

〈健康・医療分野〉

- 1 プレメディカル (佐久)
- 2 健康・医療機器関連産業
- 3 次世代自立支援機器 産業機器 (上田)
- 4 医療・ヘルスケア 機器 (諏訪)
- 5 日常生活動作支援産業 (上伊那)
- 6 食品関連製造業 (南信州)
- 7 すんき等発酵食品 (木曾)
- 8 健康医療関連産業 (松本)
- 9 ヘルスツーリズム活性化 (北アルプス)
- 10 からだに優しい食品製造業
- 11 発酵食品・機能性食品 (長野・北信)

〈環境・エネルギー分野〉

- 12 信州カラマツ活用型産業 (松本)
- 13 水浄化関連技術
- 14 ゼロエミッション生産技術
- 15 未利用バイオマス新規活用産業 (長野)

〈次世代交通分野〉

- 16 航空機システム



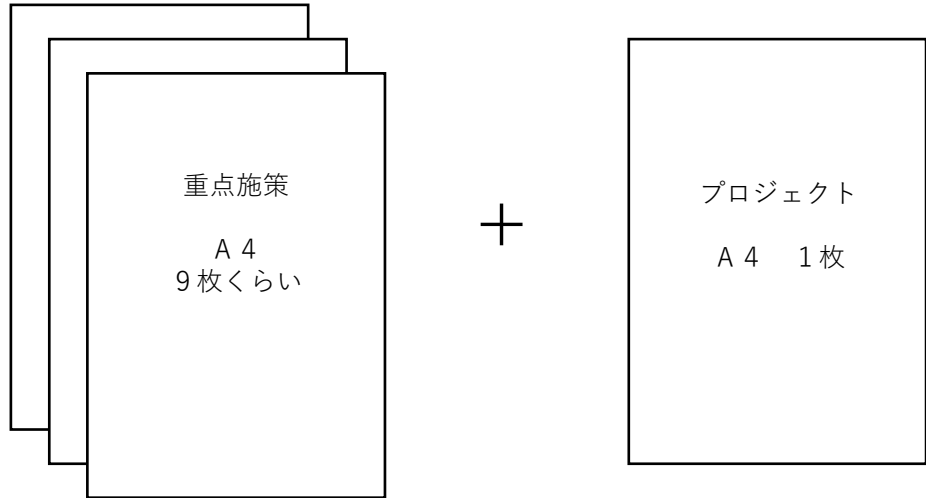
- 1 次世代交通産業振興プロジェクト
 - 2 医療機器産業振興プロジェクト
 - 3 食品製造業振興プロジェクト
 - 4 信州ワインバレープロジェクト
 - 5 信州ITバレープロジェクト
- +α

※基本は各ビジョン・構想の内容を抜粋
 ※地域計画は「他プロジェクトに溶け込み」
 Or「地域の名称は使わずにプロジェクト化」

構成イメージ

- ・ 目指すべき姿やそれを実現する道筋、KPIなどは、5年単位で設定することで、**大きな軸はぶれないように**
- ・ 重点施策は、毎年更新していくことで、**①状況の変化に対応できる常に新しい計画に**
②毎年の予算や組織編制とも整合が取れた”使える”計画に
- ・ 全体的にボリュームを落とし**重要なエッセンスのみで構成**

長野県産業振興ビジョン～グローバル・イノベーションプラン2027～（仮称）概要案（たたき台）	
<p>趣旨 世界に伍する産業の振興・創出に向けて、目指すべき姿を示し、具体的な施策を展開することにより、その姿を実現することを目的として、本プランを策定する</p> <p>位置付け 県政運営の基本となる（総合計画）の実現を産業振興の面から支えるものとして位置付ける。</p> <p>計画期間 2023年度から2027年度までの5年間</p> <p>課題 ①構造的課題 ・「稼ぐ力」の中長期的な減少傾向 ・産業の担い手・人材の不足 ・企業・人・設備・業態の世代交代が進んでいない ・海外状況の影響を受けやすい下請型・受託加工型企業が多い ②変動変化等による課題 ・人材獲得競争の激化 ・産業構造の変化（EVシフト等）や多様化する顧客ニーズへの対応 ・ゼロカーボン、エンカール、SDGs等への対応 ・サプライチェーンの見直し</p> <p>長野県の課題（仮称） ・加工型産業と他産業の連携 ・豊かな自然環境と地域資源 ・都市部との近接性・暮らしやすさ・健康長寿</p> <p>現行プランの課題 【重点施策】・イベント等を通じた施策は感染症による影響 ・新たな生活様式等に伴う急激なニーズ変化への対応 【70%?】・5年間で事業化等の実績を出すことが難しい分野があった ・実施主体の企業の撤退等により事業が止まってしまう事例も</p>	<p>基本方針 グローバル競争が激化する中、新しい価値を生み出し発展していけるよう、企業の競争力強化や人材育成・確保、新産業創出等を通じて、世界で稼げる・世界で通用する産業の振興・創出を図る。 ・施策の実施にあたっては、「DX」「GX」「Well-being」といった社会や価値観の変化も「稼ぐ力」の向上に向けた原動力と捉え、事業展開を図るとともに、これらの変化に対し企業が柔軟に対応できるよう支援を行う。</p> <p>目指すべき姿 グローバルな視点を持って、環境の変化に柔軟に対応しながら産業イノベーションの創出に向けて、積極的な追記or変更の産業の集積 目標（イノベーション→持続的な成長？） 県内産業の「稼ぐ力」の向上（県内総生産、製造業の従業員一人当たり付加価値額？）</p> <p>産業イノベーションの創出に向けた活動に取り組む企業の増加</p> <p>重点施策 ・研究開発支援（産技） ・先端技術人材育成支援（産技） ・課題解決型産出支援（産技） ・地域資源活用（産技） ・マーケティング力強化（経営・営業） ・人材育成支援（人材） ・人材確保支援（労働） ・起業・スタートアップ（経営） ・産業集積・投資促進（立地）</p> <p>国際競争力を有する高付加価値型の次世代産業の集積形成</p> <p>プロジェクト ・航空機産業地域ごと ・医療機器産業振興ビジョン ・食品製造業振興ビジョン ・信州ワイン産業地域ごと ・信州IT/IT/IT産業地域ごと ※地域計画は「他70%?」に引き込み Or「地域」の名称は使わずに70%?化</p>



基本方針・目指すべき姿・KPI

- ・ A 3 1頁
- ・ 5年後に見直し

取組内容

- ・ A 4 10頁程度
- ・ 必要に応じ**1年毎に更新**
- ・ 更新案は県で作成し、審議会に報告

意見まとめ（長野県産業の課題）

●現行プラン記載の課題
○1/24部会意見

①A 構造的課題

- 「稼ぐ力」が中長期的に減少傾向
- 製造品出荷額等や付加価値額はリーマンからの回復度合いは全国を下回る
- 地域経済をけん引する企業が少ない
- ものづくりの基礎となる金型産業の減少

- 人口減少、少子高齢化による担い手の減少
- 社会減による担い手の減少
- 女性や障がい者の活用が進んでいない
- 「専門的・技術的職業」「生産工程の職業」など専門人材の確保

- 生産設備の老朽化による生産性の低下

- アジア諸国の工業力の台頭により価値を生み出しにくくなっている加工組立を主とする下請型・受託加工型企业が多い

②B 情勢変化等による課題

- 人材獲得競争の激化
- DX、ゼロカーボン、等に対応できる人材、提案力のある人材の育成・輩出

- グローバル化の中でどのように価値を生み出していくか、適正な価格とするか

- サプライチェーンを含めた産業の流れ・仕組み自体を考える必要
- ゼロカーボン、エシカル、SDGsへの対応

- 技術革新や次世代自動車の普及等、産業構造の変化への対応
- 多様化する顧客ニーズへの対応が進んでいない

意見まとめ（企業の目指すべき方向性、これからの産業支援策）

①企業間連携

- 今までにない業界とのネットワーク・関係性の強化が必要（製造業×サービス業、IT企業、農業など）
- 県内企業同士が連携して、グローバルな対決をしていく。その加速化・実用化を促す支援
- ビジネスマッチング機能の強化

②ビジネスモデルの見直し

- 受託開発を中心としたビジネスモデルを見直しが必要、ユーザーと一緒に考える新しい関係作りが必要
- 企業が環境の変化に対応できるように支援
- 国内の市場だけでなく海外の市場も考慮した適正価格設定等の戦略づくりの支援

③人材育成・確保

- 時代のニーズ（DX、ゼロカーボン、ものづくり×サービス等）に合わせた多様な人材の育成・確保
- 技術者のスキルシフト
- 移住者、兼業副業人材、女性、障がい者等の人材の更なる活用
- 個人のノウハウを会社としてのノウハウとするための道筋づくり

④その他

- IT人材育成→デジタル化→生産性向上→高付加価値化
- 各企業が取り組むSDGs等の取組の見える化
- 長野県の知名度の活用
- 長野県ならではの取組や独自性を盛り込む必要
- 地域というよりも分野ごとに対応していくことが必要